

サポートルーム 夏の研修

～ サポートルームでは、夏休みに研修を行いました～

1、 PBS「ポジティブ行動支援」

夏の研修では、サポートルーム教員の研修「行動問題の理解と解決のためのアイデア創造ワークショップ」を用いて、相原小の教員に向けて校内研修をさせてもらいました。

～PBSとは…ポジティブ行動支援 (Positive Behavioral Support)～

- ①適切な行動をしている時間を増やす。
- ②ポジティブな評価を受ける機会を増やす。
- ③変えたい行動の機能を予測し、その機能を受け入れ、満たす支援をする。

PBSについて説明、紹介させてもらった後、実際に PBS を考えるゲームに取り組んでもらいました。



(一部抜粋)

2、行動支援錯誤ゲーム

望ましくない行動を減らすための支援案を試行錯誤しながら検討するカードゲームをしました。ポジティブ行動支援を行うためのケース会議を体験的に理解することが目的です。

「行動カード」「機能カード」「アイデアカード」「お楽しみカード」を使って3～4人1グループで行いました。

(1) 手順

- ① 子供役と支援役にわかれます。
- ② 子供役は機能カードをもとに、行動カードに書かれた行動をする。
- ③ 支援役はお楽しみカード（子供が好きなもの）とアイテムカードを使って支援をする。



(2) カードの内容一覧 (一部抜粋)

【行動カード】

大きな声が出し、涙を流しながら泣いている	両手を下に振り下ろしながら周囲に聞こえる声で叫ぶ	職員に対して抱きついたり、二の腕を抱いたりする	近くの人のや自分の手を手当たりが第1めでいる	腹をつかみ、思いっきり噛む	お友達の後ろにこり、お尻がけて足をあけて蹴る	お友達や職員めがけて、自分のつばを吐ぼす	壁や床に自分を頭を何回もうちつける

右手の手のひらで、お友達の頭を叩く	持っていたおもちゃを投げる	親指の爪を噛んでいる	ゲームに負けると頭をいしばりながら怒りを示し、地団駄を踏む	お友達や職員に対して、爪を立てて腕や顔をひっかく	狭い部屋で周りに人もいるがぐるぐると走り回る。注意しても再度走る	近くにあるものを手あたり次第口の中に入れる	お友達のほっぺや頭を親指と人差し指でつねる

【機能カード】(最後2枚は行動カード)

感覚刺激・自己刺激 例	嫌悪状況からの逃避 例	注目の獲得 例	物や活動の要求 例
→	→ →	→ →	→ →
※この例は参考。そのままやらない。	※この例は参考。そのままやらない。	※この例は参考。そのままやらない。	※この例は参考。そのままやらない。

不安のある活動の阻止 例	○感覚刺激・自己刺激 ○嫌悪状況からの逃避 ○注目の獲得 ○物や活動の要求 ○不安のある活動の阻止	 お友達や職員に対して、腕を力強くひっぱる	 壁や机、床など至る場所に鉛筆で落書きをする
-----------------	---	--------------------------	---------------------------

【お楽しみカード】

物を並べる	自分の影	ジャンプ	物を回す	服のタグ	スイッチ	レシート	標識

【アイデアカード】イラストの場合と、文章の場合と2パターンあります。

周りの迷惑にならない方 法を教える(例:ベン回し、落書き、暗算、深呼吸、ス トレッチなど)	好みの感覚刺激を日常的 に与えるBGM、音楽の鳴 る本、粘土、タオル、無限 チケチ、スピナー、チラ シ切り、ハンモック)	嫌悪刺激を減らす(例:騒 音、まぶしさ、匂いなどを避 けられる工夫をする)	クールダウン(落ち着ける) できる場所への移動を提 案する				
一人で没頭できる活動を 提案する(例:運動、読 書、工作など)	見通しを持たせる (例:スケジュール、 タイマーなど)	やっている行動に対して理 解を示し、我慢と努力を促 す(例:「言いたいのはわかるけ ど、独り言は他の人の迷惑にな らないよう小さい声で言つて ね」)	状況に応じて、パーテ ーションなどを用いながら構 造化をする				

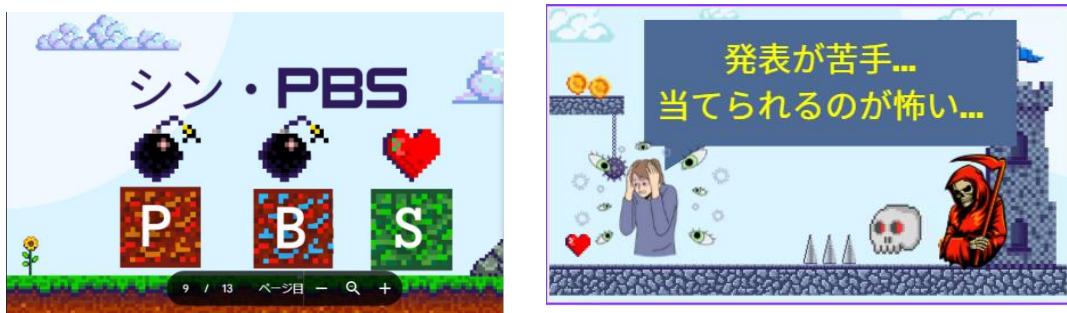
(3) 成果

- 子どもの立場で支援をされる体験を通して、子供の視点を理解できた。
- 観察力を引き上げる練習になった。
- 考え方方が柔軟になり、いつもとは違う新しい支援のひらめきが得られる。



3、シン・PBS

最後はお待ちかね深澤先生の PBS コーナー☆ (ピリピリ・ビリビリ・さあ大変)



皆さんでビリビリを体験して、子供のドキドキ緊張する気持ちを経験しました☆

「遊びじゃないよ、勉強だよ！サポートルームは人生の勉強をするところだよ」と深澤先生は言うのでした。

☆完☆